

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ⑫

『ミラノコルティナオリンピック』スポーツの素晴らしさ

冬季オリンピック、本当に多くの感動の場面がありました。フィギアのりくりゆうペアをはじめ、スキー・スノーボード、スキー・ジャンプ、スケート、17日間テレビの応援席で本当に楽しませていただきました。11日には、地元の柳本理乃選手のミラノコルティナオリンピックの応援を行いました。彼女が東小・藤浪中出身ということもあり、関係の校長先生方にも出席していただきました。柳本選手は、フリースタイル（モーグル女子）の選手です。見ただけでこの競技の激しさ・凄さを感じます。ダイハツ・愛知県スキー連盟・藤浪中同窓会の皆様にご協力をいただきました。結果は準決勝進出でしたが、皆さんと深夜まで熱く応援できました。レース後の彼女のインタビューでは、驕りやいばりもなく、真面目にモーグルと向き合う姿に感動しました。この後開催のパラリンピックもしっかり応援していきたいと思っています。

今年も津島の達人ジュニア歴史選手権を児童科学館で行いました。今年で13回目。西尾張CATV開局20周年の記念番組で始まり、13回（15年目）を迎えました。教頭先生をはじめ、教務先生・56年生の担任の先生方の応援で、34チーム68人の子どもたちに声を掛けて頂きました。インフルエンザ等があり参加チームは32チーム64人となりました。津島の歴史・文化について関心をもつ子どもたちを増やすことができました。今年は4回目のテキストの改訂もあり、多くの先生方にご協力頂きました。本当にありがとうございました。

2月・3月にもなると新年度の準備が始まります。校長先生方と話し合い、各学校でしっかりした話し合いをお願いしました。各学校が特色のある学校づくりを進めてほしいと思います。また学力・体力をしっかりとつけることのできる取組、こどもたち・保護者や地域の皆さんとの話をしっかりと受けとめることをお願いしました。もう一つ課題となっている中学校の休日部活動の地域展開についても、各学校で部活動指導できる教員が不足している部活動より指導員の方に入っていただくように進めていき、こどもたちのため地域クラブをつくろうとするスポーツ種目については活動を支援していこうと思っています。

来年度も津島市教育委員会の合言葉は「豊かな人間性と、よりよく生きる力を身につけた郷土を愛し、人権感覚・国際感覚のある 津島っ子」で「キラリと光る津島の教育」「誰一人取り残さない津島の教育」「津島愛、津島プライド」「命最優先、人権を尊重する津島の教育」を目指します。

令和8年3月2日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視